

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-20-017
地域資源名	淡路瓦	認定日	平成20年7月7日
地域	兵庫県南あわじ市	所管省庁	経済産業省

事業名：淡路瓦の伝統技術を活用した、新製品「淡路タイル(AWAJI-Tile)」の開発、生産、販売

会社名：株式会社ミハラ

所在地：兵庫県南あわじ市津井1875

連絡先：TEL：0799-38-0083

H P：http://www.ibusiyaki.com/

FAX：0799-38-0082

事業概要(新たな活用の視点)

- ・淡路瓦は、国内三大産地のひとつに数えられる。中でも、日本建築に多く用いられてきた「いぶし瓦」の生産量シェアは47%を占め、全国第1位を誇る。
- ・生活スタイルの洋風化、阪神淡路大震災による瓦離れにより、瓦の需要はピーク時の1/3に低迷したままである。
- ・淡路瓦を復興するには約400年にも及ぶ伝統技術をそのまま活用するだけでなく、新製品を開発する必要がある。
- ・本事業では、淡路瓦と同じ材料である淡路の土と設備を活用し、マーケットが約3倍というタイル市場向けに、淡路瓦の魅力を凝縮した「淡路タイル(AWAJI-Tile)」を開発し販売する。



【鬼瓦】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・厚さが10mm以上、吸水率が低く、光沢のない黒陶「こくとう」の開発に成功した。厚さがあるため、耐久性を確保できる。瓦の技術を活用したタイルでは初めてJIS規格(吸水率3%以下)をクリアした。光沢のないしっとりと落ち着いた独特の黒は高級感やぬくもりを感じさせる。
- ・淡路では瓦同様、原料となる土を他の地域にくらべ安く入手できることから、低価格での試作製造に成功している。



【高速焼成炉】

◆市場性

- ・タイルは、競争の激しい市場であるが、約2000億円の市場規模があり、特殊なタイルを製造し成功している中小企業も多い。

◆販路

- ・西日本は、これまでの取組みにより、既に販売提携の話が進行中である。東日本は、設計士や建築士が自分のデザインに適するタイルを設計図面に指定することがほとんどであるタイル業界の事情を勘案し、建築設計事務所、ハウスメーカー設計課等の設計士などにPRする、これまでと全く異なる手法を使っていく。



【黒陶タイル】

地域資源における関係事業者との連携

- ・淡路瓦では1100℃以上という高温で瓦を生産した歴史はない。よって、淡路土を熟知する企業やガスと窯を熟知する企業などと連携を図り、淡路タイルの商品化を推し進めていく。